

2021年9月

県内企業の景況意識調査

(第178回)

共同調査

大銀経済経営研究所

大分信用金庫

大分県産業創造機構

* 2021年 7～9月期〈Ⅲ期〉の実績見込み

* 2021年 10～12月期〈Ⅳ期〉の見通し

持ち直しの動きは弱く、依然として厳しい状況

今期（2021年7～9月期〈Ⅲ期〉）の業況判断BSIは、前期比0.9ポイント上昇の▲30.9となった。業種別のBSIは、『建設業』『金融・不動産業』『運輸業』『サービス業』の4業種で改善し、『製造業』『卸・小売業』の2業種で悪化した。

今期の業況判断BSIは金融・不動産業やサービス業でやや改善したものの、製造業と卸・小売業では悪化した。全体としては前期と同水準となっており、大きな改善は見られていない。

来期（2021年10～12月期〈Ⅳ期〉）の業況判断BSIは、今期比13.2ポイント上昇の▲17.7となる見通し。業種別のBSIは、『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』『運輸業』『サービス業』の5業種で改善し、『建設業』で悪化する見通しである。

来期は新型コロナウイルス感染症のワクチン接種進展に伴う感染症収束への期待感から、幅広い業種で業況判断BSIの改善が見込まれている。

*2021年 7～9月期〈Ⅲ期〉の実績見込み

製造業……………2期ぶりに悪化

卸・小売業……………卸売業は改善、小売業は悪化

建設業……………前期とほぼ同水準

サービス業……………2期連続で改善も、低迷

持ち直しの動きは弱く、依然として厳しい状況

◎業況判断

【今期】(2021年7~9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI：▲30.9 (前期比+ 0.9㊦)

<内訳>

- ・よくなった 7.8% (前期比▲ 2.4㊦)
- ・悪くなった 38.7% (前期比▲ 3.3㊦)
- ・変わらない 53.4% (前期比+ 5.6㊦)

<業種別>

- ・前期比改善：4業種(『建設業』『金融・不動産業』『運輸業』『サービス業』)
- ・前期比悪化：2業種(『製造業』『卸・小売業』)

今期の業況判断BSIは金融・不動産業やサービス業でやや改善したものの、製造業と卸・小売業では悪化した。全体としては前期と同水準となっており、大きな改善は見られていない。

来期は新型コロナウイルス感染症のワクチン接種進展に伴う感染症収束への期待感から、幅広い業種で業況判断BSIの改善が見込まれている。

【来期】(2021年10~12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI：▲17.7 (今期比+13.2㊦)

<内訳>

- ・よくなる 14.7% (今期比+ 6.9㊦)
- ・悪くなる 32.4% (今期比▲ 6.3㊦)
- ・変わらない 52.9% (今期比▲ 0.5㊦)

<業種別>

- ・今期比改善：5業種(『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』『運輸業』『サービス業』)
- ・今期比悪化：1業種(『建設業』)

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲21.2 (前期比+ 6.2㊦)

5業種で改善

収益BSI：▲24.6 (前期比+ 1.4㊦)

2業種で改善

【来期】

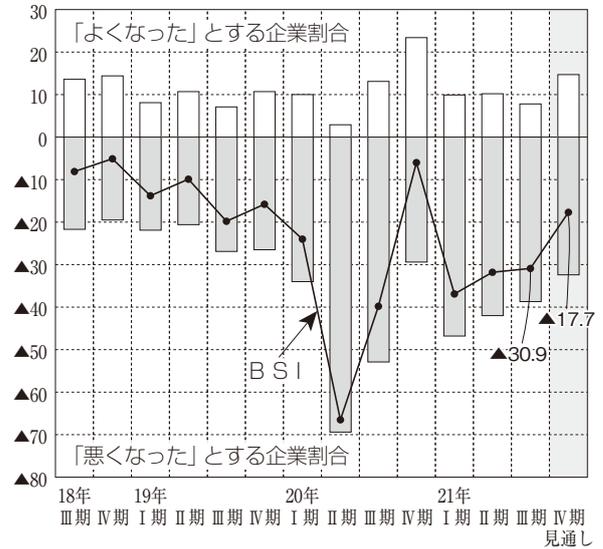
売上高BSI：▲7.9 (今期比+13.3㊦)

4業種で改善見通し

収益BSI：▲13.3 (今期比+11.3㊦)

5業種で改善見通し

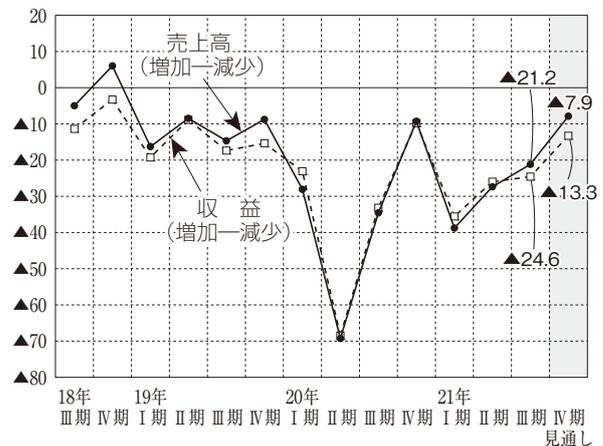
業況判断 (B S I)



業況判断指数内訳 (B S I)

	2021年 Ⅰ期	2021年 Ⅱ期	2021年 Ⅲ期	2021年 Ⅳ期見通し
建設業	▲21.5	▲22.0	▲21.4	▲28.6
製造業	▲30.8	▲20.0	▲29.0	▲14.5
卸・小売業	▲46.5	▲45.6	▲48.2	▲35.7
金融・不動産業	▲44.4	▲50.0	▲14.3	14.3
運輸業	▲7.7	▲6.7	0.0	15.4
サービス業	▲56.2	▲42.1	▲29.7	▲5.4
全産業	▲36.9	▲31.8	▲30.9	▲17.7

売上高と収益 (B S I)



◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間 B S I : ▲17.9 (前期比▲ 3.1ポイント)
2業種で上昇
雇用者数の現状 B S I : ▲27.1 (前期比▲ 7.4ポイント)
2業種で上昇

【来期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 6.4 (今期比+11.5ポイント)

◎経営上の問題点

- 1位:「売上不振」(42.0%)
- 2位:「原材料仕入価格高騰」(14.0%)
- 3位:「人材不足」(13.5%)
- 4位:「人手不足」(12.0%)
- 5位:「競争激化」(5.0%)

業種別にみると、「売上不振」と回答した割合は、『金融・保険業』が57.1%、『サービス業』が52.8%と特に高い。「原材料仕入価格高騰」は『建設業』で18.5%と最も高くなっている。

「売上不振」の割合は前期比5.5ポイント低下し、2期連続で半数を下回った。

◎設備投資実施割合

【今期】

実施企業の割合: 36.3% (前期比+ 2.8ポイント)
2業種で上昇

<投資目的>

- 1位:「補修・更新」(70.3%)
- 2位:「生産能力の拡大・売上増加」(10.8%)
- 3位:「合理化・省力化」(5.4%)
- 4位:「新製品生産」(4.1%)

【来期】

実施予定企業の割合: 38.2% (今期比+ 1.9ポイント)
3業種で上昇見通し

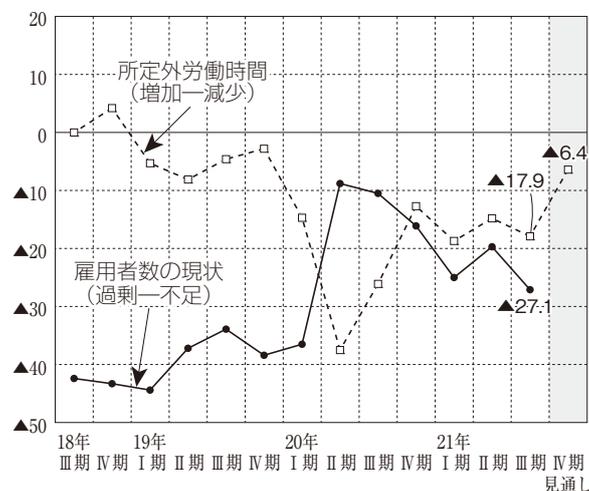
<投資目的>

- 1位:「補修・更新」(66.7%)
- 2位:「合理化・省力化」(9.0%)
- 2位:「新製品生産」(9.0%)

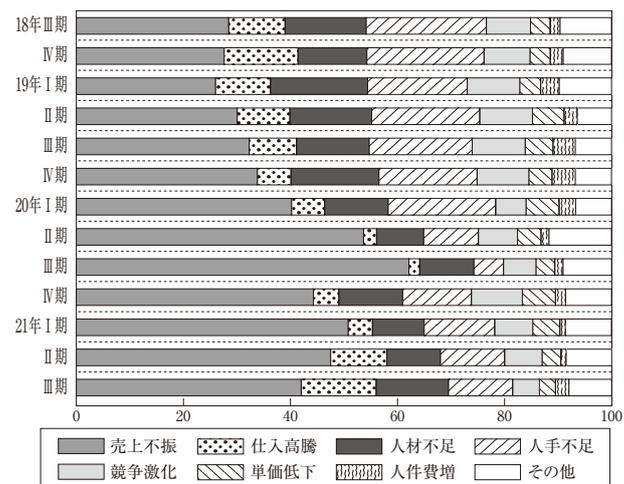
◎「2020年東京オリンピック・パラリンピックの影響」について

今回の調査において、「2020年東京オリンピック・パラリンピックの影響」について尋ねたところ、「影響はない」が74.3%、「ややプラスの影響がある」「ややマイナスの影響がある」が5.0%、「大いにマイナスの影響がある」が2.5%となった。

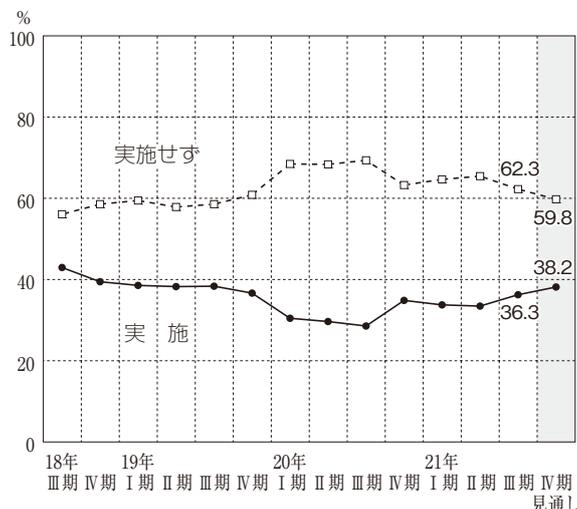
所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



経営上の問題点 (%)



設備投資実施割合



2期ぶりに悪化

◎業況判断

【今期】(2021年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI：▲29.0（前期比▲9.0㊦）

＜内訳＞

- ・よくなった 9.7%（前期比▲10.3㊦）
- ・悪くなった 38.7%（前期比▲1.3㊦）
- ・変わらない 51.6%（前期比+11.6㊦）

＜業種別＞

- ・前期比改善：3業種（「機械」「印刷・出版」「窯業・土石」）
- ・前期比悪化：5業種（「化学・石油」「鉄・非鉄・金属」「食料品」「木材・家具」「その他」）

原材料費の高騰が見られた「鉄・非鉄・金属」や、製品需要の減退が見られた「食料品」において業況判断BSIが大幅に悪化し、全体の業況判断BSIも悪化となった。

【来期】(2021年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI：▲14.5（今期比+14.5㊦）

＜内訳＞

- ・よくなる 16.1%（今期比+6.4㊦）
- ・悪くなる 30.6%（今期比▲8.1㊦）
- ・変わらない 53.2%（今期比+1.6㊦）

＜業種別＞

- ・今期比改善：5業種（「化学・石油」「鉄・非鉄・金属」「食料品」「窯業・土石」「その他」）
- ・今期比不変：3業種（「機械」「木材・家具」「印刷・出版」）

来期は「変わらない」との回答が過半数を占めているものの、業種別の業況判断BSIでは今期よりも改善が見込まれる業種が多く、全体の業況判断BSIも今期比で改善する見通しである。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲11.3（前期比+0.3㊦）

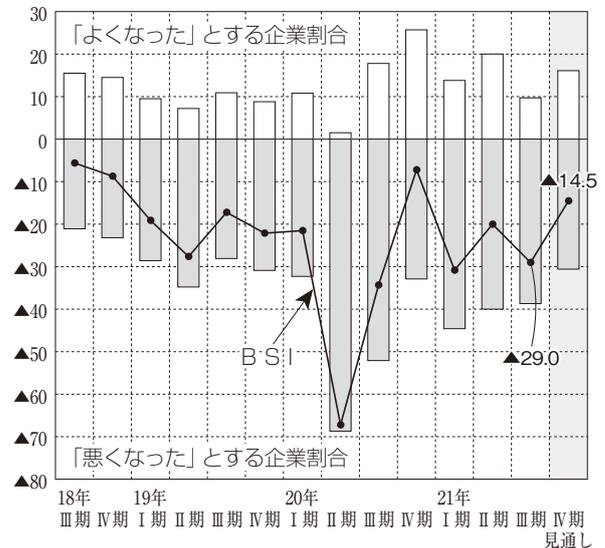
収益BSI：▲19.4（前期比▲1.0㊦）

【来期】

売上高BSI：▲9.6（今期比+1.7㊦）

収益BSI：▲14.5（今期比+4.9㊦）

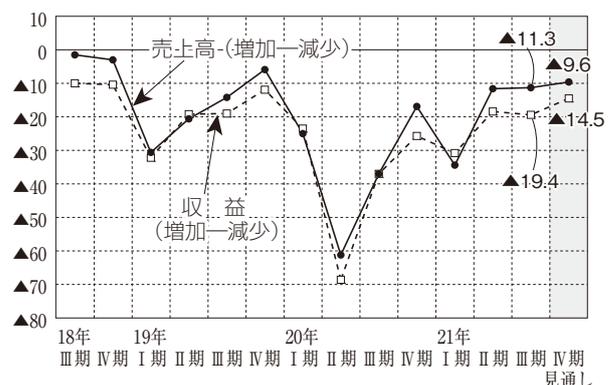
業況判断（BSI）



業況判断指数内訳（BSI）

	2021年Ⅰ期	2021年Ⅱ期	2021年Ⅲ期	2021年Ⅳ期見通し
化学・石油	0.0	0.0	▲25.0	0.0
鉄・非鉄・金属	40.0	14.3	▲42.8	▲28.5
機 械	▲5.6	▲22.2	5.8	5.9
食 料 品	▲84.6	▲27.3	▲53.8	▲38.5
木材・家具	▲14.3	33.4	0.0	0.0
印刷・出版	▲66.7	▲80.0	▲60.0	▲60.0
窯業・土石	0.0	▲25.0	0.0	25.0
そ の 他	▲62.5	▲75.0	▲83.3	▲16.7
製 造 業	▲30.8	▲20.0	▲29.0	▲14.5

売上高と収益（BSI）



卸売業は改善、小売業は悪化

◎業況判断

【今期】(2021年7～9月期〈Ⅲ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI：▲25.9(前期比+27.7㊦)

<内訳>

- ・よくなった 7.4%(前期比+0.3㊦)
- ・悪くなった 33.3%(前期比▲27.4㊦)
- ・変わらない 59.3%(前期比+27.2㊦)

『小売業』

業況判断BSI：▲69.0(前期比▲31.0㊦)

<内訳>

- ・よくなった 0.0%(前期比▲10.3㊦)
- ・悪くなった 69.0%(前期比+20.7㊦)
- ・変わらない 31.0%(前期比▲10.4㊦)

小売業では、感染症拡大に加えて天候不順の影響もあり、業況判断BSIは大幅に悪化した。

卸売業では業況判断BSIの改善が見られるものの、飲食店への時短要請などの影響で低水準が続いている。

【来期】(2021年10～12月期〈Ⅳ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI：▲22.2(今期比+3.7㊦)

『小売業』

業況判断BSI：▲48.3(今期比+20.7㊦)

ワクチン接種進展による感染症の収束への期待感から、卸売業、小売業ともに今期比改善の見通しである。

◎卸売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲14.8(前期比+40.4㊦)

収益BSI：▲29.6(前期比+15.2㊦)

【来期】

売上高BSI：▲14.8(今期比±0.0㊦)

収益BSI：▲33.3(今期比▲3.7㊦)

◎小売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲55.2(前期比▲24.1㊦)

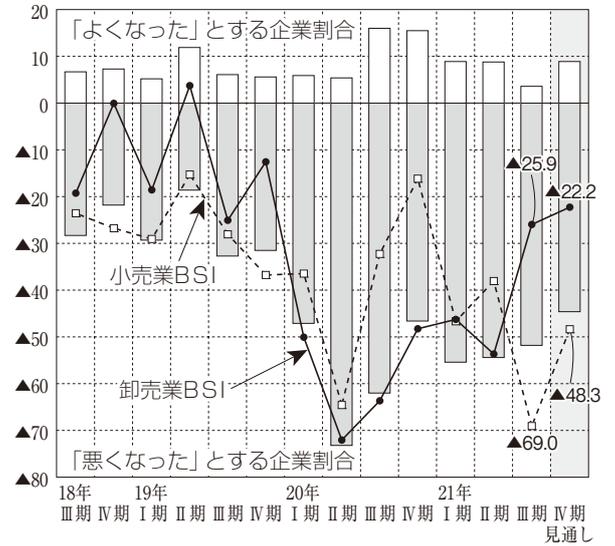
収益BSI：▲51.7(前期比▲20.7㊦)

【来期】

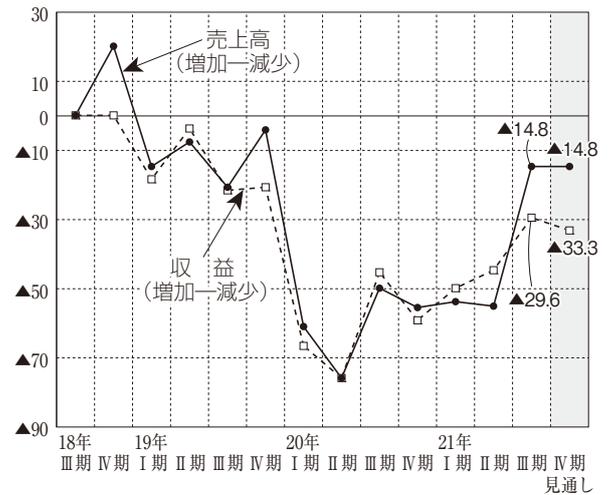
売上高BSI：▲31.0(今期比+24.2㊦)

収益BSI：▲27.6(今期比+24.1㊦)

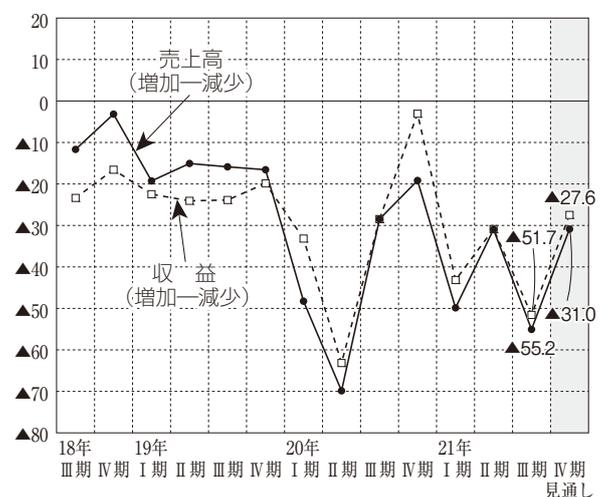
業況判断(BSI)



【卸売業】売上高と収益(BSI)



【小売業】売上高と収益(BSI)



前期とほぼ同水準

◎業況判断

【今期】(2021年7~9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI : ▲21.4 (前期比+ 0.8㊦)

<内訳>

- ・よくなった 3.6% (前期比+ 3.6㊦)
- ・悪くなった 25.0% (前期比+ 2.8㊦)
- ・変わらない 71.4% (前期比▲ 6.4㊦)

前期と比べ「変わらない」とする回答が大半を占め、業況判断BSIも前期とほぼ同水準となった。仕入れ価格高騰を経営上の問題点としてあげる企業の割合が上昇した。

【来期】(2021年10~12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI : ▲28.6 (今期比▲ 7.2㊦)

<内訳>

- ・よくなる 0.0% (今期比▲ 3.6㊦)
- ・悪くなる 28.6% (今期比+ 3.6㊦)
- ・変わらない 71.4% (今期比± 0.0㊦)

来期の見通しでは、好材料に乏しいとの声も聞かれた。今期比「よくなる」と回答した企業はなく、業況判断BSIは今期よりもやや低下する見通しとなっている。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲11.1 (前期比▲ 3.4㊦)

収益BSI : ▲18.5 (前期比▲10.8㊦)

【来期】

売上高BSI : ▲11.1 (今期比± 0.0㊦)

収益BSI : ▲11.1 (今期比+ 7.4㊦)

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間BSI : ▲25.0 (前期比+ 0.9㊦)

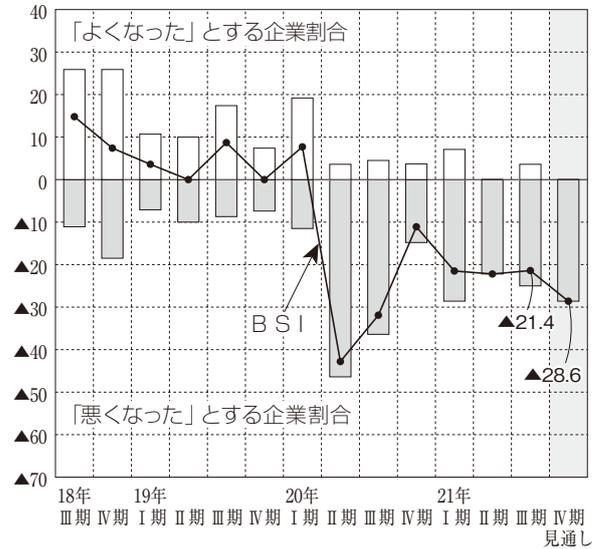
雇用者数の現状BSI : ▲50.0 (前期比+ 1.9㊦)

所定外労働時間BSI、雇用者数の現状BSIともに前期とほぼ同水準となった。半数の企業は従業員数が不足していると回答しており、人材不足と人手不足が課題となっている。

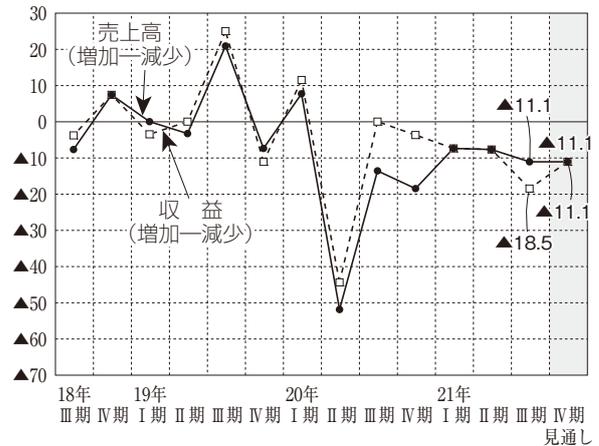
【来期】

所定外労働時間BSI : ▲25.0 (今期比± 0.0㊦)

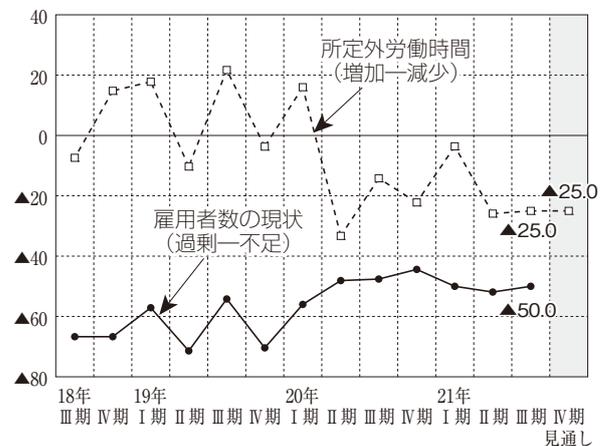
業況判断 (BSI)



売上高と収益 (BSI)



所定外労働時間と雇用者数の現状 (BSI)



2期連続で改善も、低迷

◎業況判断

【今期】(2021年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI : ▲29.7 (前期比+12.4%)

<内訳>

- ・よくなった 5.4% (前期比+ 0.1%)
- ・悪くなった 35.1% (前期比▲12.3%)
- ・変わらない 59.5% (前期比+12.1%)

サービス業のうち観光関連の19社では、「よくなった」と回答した企業は前期比10.5ポイント増の10.5%、「悪くなった」と回答した企業は同35.1ポイント減の31.6%だった。観光関連以外(18社)では、「よくなった」と回答した企業はなく、「悪くなった」と回答した企業が38.9%だった。8月以降新型コロナウイルス感染症が急拡大し、九州では大分県を除く全県で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象地域となった。観光関連では、度重なる感染防止対策で人の流れが抑制されており、ホテル・旅館、レジャー施設を中心に低迷が続いている。

【来期】(2021年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI : ▲5.4 (今期比+24.3%)

<内訳>

- ・よくなる 24.3% (今期比+18.9%)
- ・悪くなる 29.7% (今期比▲5.4%)
- ・変わらない 45.9% (今期比▲13.6%)

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲35.1 (前期比+ 9.6%)

収益BSI : ▲27.0 (前期比+15.1%)

【来期】

売上高BSI : 5.4 (今期比+40.5%)

収益BSI : ▲2.7 (今期比+24.3%)

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

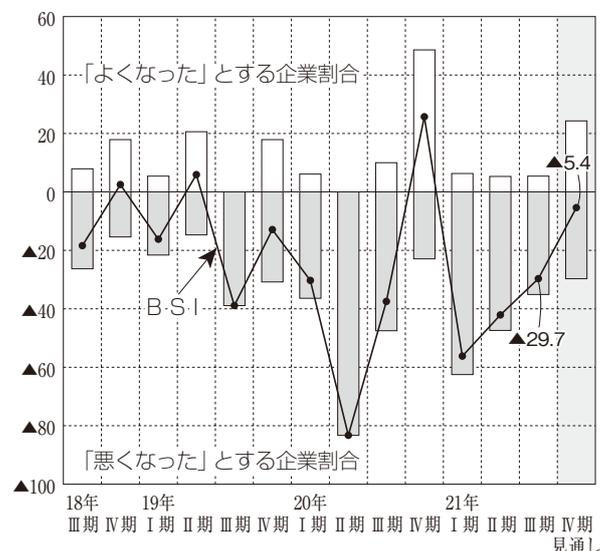
所定外労働時間BSI : ▲24.3 (前期比▲11.2%)

雇用者数の現状BSI : ▲30.0 (前期比▲24.7%)

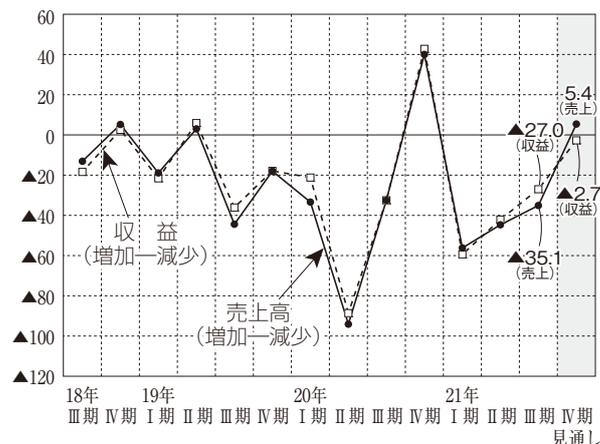
【来期】

所定外労働時間BSI : ▲2.7 (今期比+21.6%)

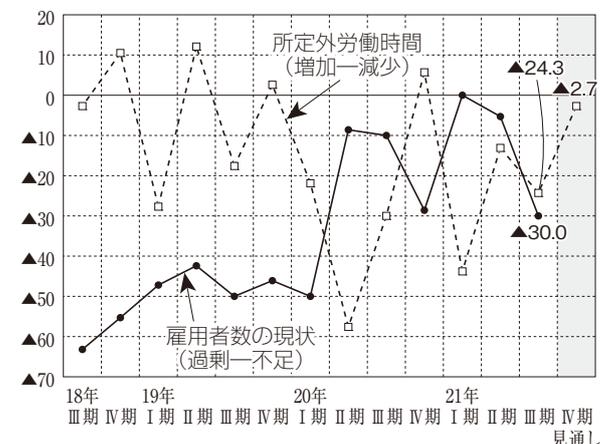
業況判断 (BSI)



売上高と収益 (BSI)



所定外労働時間と雇用者数の現状 (BSI)



BSIとは

BSIとは“Business Survey Index”の略

企業経営者の業況に関する判断や景気見通しを“よくなる・よくなった”、“変わらない”、“悪くなる・悪くなった”という3つの形式で回答を求め、これを数値であらわしたものである。

BSIは次の数式で求められる。

①〔よくなる〕+〔変わらない〕+〔悪くなる〕=100%とする

②〔変わらない〕の回答分を除く

③ $BSI = [よくなる] - [悪くなる]$

BSIが前期を上回れば景気は改善、前期を下回れば悪化という見方をする。

調査の概要

当調査は、大銀経済経営研究所、大分信用金庫、大分県産業創造機構の三者合同によるアンケート調査である。

◎調査時点 2021年8月20日

◎調査の内容

- ・自社の景況の実績と見通し
- ・売上高と収益の実績と見通し
- ・設備投資実施割合
- ・経営上の問題点など

◎調査対象

- ・県内に本社または出先事業所を有する企業433社

◎回答企業数 204社

・回答率 47.1%

・規模別割合

資本金1千万円未満・個人	8.8%
資本金1千万円～1億円未満	57.4%
資本金1億円以上	17.6%
無回答	16.2%